



～ソプラノとトランペットの妙なる調べ～

横田聡子 Soprano

梅山英行 Trumpet

奈良秀樹 Violin

橋本土郎 Violin

渡辺みほ Viola

上野敦子 Violoncello

笠原恒則 Cembalo

2007年9月1日(土)
上越文化会館 中ホール

G. Ph. テレマン (Georg Philipp Telemann, 1681-1767)

トランペット協奏曲 ニ長調 TWV51:D7

A. ヴィヴァルディ (Antonio Vivaldi, 1678-1741)

モテット『この世にまことの平安は無く』 RV630 より

- この世にまことの平安は無く
- アレルヤ!

A. スカルラッチィ (Alessandro Scarlatti, 1660-1725)

『トランペット独奏付きの7つのアリア集』より

- 私の宝であるひとよ、君ゆえに私は死ぬ
- トランペットよ鳴れ

————— 休憩 (15分) —————

L. ボッケリーニ (Luigi Boccherini, 1743-1805)

『スターバト・マーテル』 G.532 より

- I. 悲しみの聖母は佇めり
- III. 御母は嘆き
- VII. 御身、傷つけられし御子よ
- IX. 我にキリストの死を負わしめ
- X. 我を傷つけ
- XI. 肉体の死する時には

J. S. バッハ (Johann Sebastian Bach, 1685-1750)

カンタータ 51 番『全地よ神にむかいて歓呼せよ』 BWV51

横田聡子 (ソプラノ)

上越市出身。新潟大学教育学部特別教科（音楽）教員養成課程声楽専攻卒業。上越教育大学大学院芸術系音楽コース修了。KOBE 国際学生音楽コンクール入選。“万里の長城杯”国際音楽コンクール第5位受賞。福光 IOX-AROZA 声楽サマーセミナー奨励賞受賞、成績優秀者によるコンサートに出演。新潟県音楽コンクール最優秀賞受賞。オペラでは、《ドン・ジョヴァンニ》ドンナ・アンナ、《魔笛》パミーナ、《愛の妙薬》アディーナ、《デイドーとエネアス》デイドー役など、多数出演。また、モーツァルト《レクイエム》《戴冠ミサ》、などのソプラノ・ソロを務める。高橋利恵、絹川文仁、寺川悦男、U.ガルディーニ、池田操、鈴木規子の各氏に師事。現在、新潟産業大学附属高等学校非常勤講師、二葉楽器音楽教室ソルフェージュ講師のほか、後進の指導にもあたっている。今秋より、国際ロータリー財団奨学生としてイタリアへ留学予定。上越市民オペラ、新潟オペラスタジオ各会員。

梅山英行 (トランペット)

上越市出身。11歳からトランペットの演奏をスタートし、オーケストラ、吹奏楽、アンサンブル、ジャズといった様々なジャンルの演奏を積み重ねること25年。上越市を中心に演奏活動を行いつつ、県内の小・中・高生の指導会・講習会の講師を多数務める。ソロ活動としては、アルチュニアン協奏曲を上越交響楽団と、ネルーダの協奏曲をストリング・アンサンブル・ユーベルと演奏している。近年、ジャズのアドリブ奏法、バロック音楽に目覚め、これらの音楽に積極的に取り組み、今後の活動の中心と見据えている。所属：上越交響楽団、The Brilliant Brass、the 20th century children street JAM Band。